



# 子ども総合センターだより

あした

## 明日もしあわせ通信 (第55号) 令和3年1月号

### 「生きがい」を求めて



「スター誕生！」という番組を覚えていますか。ピンク・レディや山口百恵、中森明菜など多くのアイドルを生み出した、きんちゃんこと萩本欽一らが司会を務めたあの公開オーディション番組です。私の知人に、その予選会に出場した人がいます。

話は変わりますが、ある番組の外国人が選ぶニッポンの大発明ランキングで第4位にランクされたのが、なんと、「生きがい」でした。ちなみに5位は電動自転車、6位は動物カフェですから、なんとも異色です。「生きがい」に当たる単語は他の国にはないそうで、日本でこの言葉が普通に使われ出したのは戦後からではないかと言われています。それまでは「かい」という言葉があり、「かいない」「死にがい」というように使われていました。つまり、死んでもよいような「かい」が欲しかったのでしょう。艱難辛苦が多く、生きるということに手応えがなかったのかもしれませんが、あえて積極的に生きることに「かい」を求めようとして「生きがい」となったのでしょう。

予選会に出場した知人は、あえなく落選。今は天職とでもいうべき教育界で働いています。そして、率先してほこりをかぶるような作業をしてもほこらず、職場の者に茶菓をおごつても決しておごらず、いつもアグレッシブに「生きがい」を求め、老若男女から慕われています。もし当選してアイドルになっていたら、鼻もちならない人間になっていたかもしれません。落選してよかったのかも。

丑年を迎えました。今年も、それが仕事であっても家庭であっても趣味であっても、お互い「生きがい」を求めていきましょう。「牛も千里、馬も千里」の mindset で。(N.T)

### 適応指導教室「はばたき」 「今年の抱負・・・」

あけましておめでとうございます。令和3年が始まりました。今年、はばたき教室では「相手が一番、自分は二番」ということを抱負にしていきたいと思います。この言葉はタレントのコロツケさんもよく話している言葉です。

相手が一番というのは「自分の考えを人に押しつけないこと、人の話を聞くことから始める」ということです。「自分が」と自分から発信してしまうと、その後の話が自分中心になってしまいます。特に大人は、子どもの話を聞いているつもりでも、知らず知らずのうちに「自分が、自分が」「先生は、先生は・・・思う。」と自己主張が先に立って、相手を完全に気遣えずにいることがあります。

子どもたちに接するときには「子どもが一番、自分は二番」を基本にすることで子どもは自分の考えを話してきます。自分の思いを勇気をもってしっかりと伝える子どもに育ってくれればと考えます。そのような思いから、この言葉を今年の抱負とするとともに、指導員の「心構え」にしたいと思っています。

今年、丑年。牛はよく働くので「誠実」で縁起の良い動物だと言われています。今年もまた、はばたき教室の子どもたちが生き生きと通える教室を目指し、「誠実」に頑張っていきたいと思います。令和3年が穏やかで平和な一年でありますように、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



2021年 丑

※はばたき教室の連絡先 (電話番号 089-989-5022)

## あったかことばを花束に

ありがとう いいね うれしいな 笑顔がかわいい おいしいね かわいいね 気を付けてね グッド 元気出して ごめんね さすが 上手だね すごいね せいっぱい頑張ったね そのままでいいよ あいうえお順にあったかい言葉を集めてみました。ほかにもいっぱいありますね。

あたたかい言葉をもらうと、なんだか心まで温かくなってうれしくなります。

家族の中でどんな言葉をかけていることが多いですか、と尋ねながらも、私が日々夫へ投げかける言葉に胸が痛みます。。

コロナ禍から行動を控え、生活の楽しみが減少。なんだかモヤモヤした毎日に、あたたかい言葉のプレゼントを有効活用してみたいか、何と言っても、言葉のプレゼントは、お金もかからず、寒い時期に心がポカポカ。おまけに、子どもや家族、周りとの良好な関係を築くことができます。

最初は意識的に使っているけど、慣れてくると自然に使うことができ、気付くと周囲の人にも伝染！！今年の私の目標はあったか言葉のプレゼントに決定！ (1)

### 発達支援巡回相談

#### 《センター長のつばやき》 希望の年へ

世界が新型コロナウイルスに立ち向かっている最中に2021年を迎えた。

医療関係者の皆様にただただ感謝。明るい話題に目を向けると1月22日核兵器禁止条約が発効。7月23日からは「東京五輪・パラリンピック」が開催予定。自動車産業界は、地球にやさしい電気自動車・燃料電池車・ハイブリット車・水素自動車へと舵をきった。2030年を目標とした「SDGs」も新たな10年のスタートきる年となった。



国際宇宙ステーションきぼう

国連は2019年を「若者の活動が希望をもたらした」として「希望の年」とした。

さて2021年。若い世代にバトンタッチしながら「まだまだ若いものには負けんぞ」との気概でがんばりたい。

さらに、新たな活動様式も取り入れながら、地球にやさしい、人にやさしい時代への幕開けとして、皆様にとっても、希望に満ちた「希望の年」となりますように。(DOIG)

#### 〈テレビやスマホ、気をつけて〉

今は、お母さんが一人で子育てを担っている「ワンオペ育児」が多くなっているようです。子どもも興味を示すのでテレビやビデオを見せてその間に家事をする。しかし、そればかりに頼ると、「ことばが出ない」「目が合わない」など問題が起きることがあると、小児科医の片岡先生が問題提起している本に出会いました。

「テレビやスマホは2歳以前の子には見せない」「子どもと遊ぶことを面倒がらない」「一緒に本を読む」などのアドバイスが挙げられています。

子どもがお母さん(ひとりの養育者)だけを必要とするのは2歳までです。2年間は頑張ってほしいと思います。ただ、お父さんやおばあちゃん、おじいちゃん等も子育てに巻き込んで「ワンオペ育児」にならないように…。

(A) 参考: 「言葉の遅れが改善する方法」

片岡直樹著

#### 伊予市子ども総合センター

伊予市尾崎3-1

(伊予市総合保健福祉センター2階)

☎989-6226